

株式会社 林商店

〒939-1505

南砺市長源寺77

TEL0763(22)2330

FAX0763(22)7678

社長のひとこと

7月に入り全国各地で大雨による自然災害が多数発生しています。被災された地域の日も早い復興をお祈りいたしております。富山県は確かに自然災害の少ない県だと思いますが、日頃からの危機意識をしっかりと持ち、過去にあった災害から学び、災害時に備えなければいけません。私自身も常に危機意識をもって行動していきたいと思っております！

☆今月の癒しフォト



【お問い合わせ先】

フリーダイヤル

ゼロゴミ ナエコ

0120-053-785

好調な再生資源市況～景気が好転!?～

紫陽花の季節もそろそろ終わりを迎えそうな時季になりました。そんな中、再生資源市況は例年になく熱さを見せています！その詳細をお伝えします。

■古紙
約2年にわたり低迷していた古紙市況ですが、ここにきて輸出価格が大きく値上がりしてきました。この紙面で何度もお伝えしている通り中国が古紙の輸入を禁止し、相場が大きく下落していたのですが他国への輸出が活発になったことと、コロナ禍で発生量が大きく落ち込んでいることか

ら、需要が非常にタイト化しています。中でも段ボール古紙は2018年度の最高値を伺う動きになっています。それに伴い国内製紙メーカーはすべてではありませんが古紙調達価格の値上げに動き出しています。おそらく一過性の動きだとは思いますが古紙市況は徐々に好転していると言えるでしょう。

■鉄スクラップ
リーマンショック以来の高値で維持しています。中でも上級スクラップの引き合いが強く、一部の品種では更なる値上げに動いています。相場は高値なのですが、モノが集まらないのが現状であり、今後しばらくはこの価格を維持するという見方が多く

なっています。

■非鉄スクラップ
銅スクラップに関しては一時の過熱感は収まりましたが未だに高値を維持しています。アルミスクラップも同様です。ナイモノ高の様相もあり、中国系業者と日本の業者との物取り合戦が続きます。

好調な資源相場ではありますが、相場に振り回されない経営を目指して実行していきたいですね！今月もよろしく願いいたします！



持続可能な古紙リサイクルを目指して

古紙市況の歴史を振り返ってみると、価格が低迷していた時期が2年続くことはありませんでした。下がる時期もあるがその後しばらくすると相場が上がります。古紙業者はなんとか生き延びてきました。2018年下期から2020年前半までの価格低迷は、古紙業界存続の危機と言っても過言ではないと思います。しかし上に書いた通り現在は市況が好転しています。今後古紙の市況はどのように推移していくかは誰もが予測することはできません。

古紙回収は典型的な労働集約型の仕事になります。人、設備が大量に必要となり、非常にコストがかかります。それなのに売値が市況によって上下するので非常にやりづらさを持っています。この問題を打破するべく弊社では令和4年1月～古紙回収の回収頻度の大幅削減による効率化＆回収手数料(逆有償化)ビジネスへの転換を行うことになります。弊社では古紙回収に当たり段ボール1枚や2枚でも無料で回収しています。これは100円以下の資源を数千円のコストをかけて回収していること

になります。実際のこのようなケースが全体顧客数の50～60%あり、働いている社員がこの仕事に誇りを持ってなくなっている大きな要因であると考えています。今後は発生数量や回収頻度、そして弊社からの距離からお客様の古紙の買取価格を決めていくという構造改革に踏み出します。お客さまには今後しっかりと説明をしていきますので何卒ご理解を賜りたいと存じます。

